

競技注意事項

1. 本大会は、2026 年度公益財団法人日本陸上競技連盟競技規則により実施する。
2. 競技者の招集は下記のとおりとする。競技者招集所はスタンド下中央に設置する。
招集開始時刻：トラック競技30分前・フィールド競技40分前 ※棒高跳・走高跳は60分前
招集完了時刻：トラック競技20分前・フィールド競技30分前 ※棒高跳・走高跳は50分前
代理人による招集は認めない。必ず競技者係で招集を受けること。ただし、種目を兼ねて出場し、同時に2種目出場しているときはその旨を競技者係に申し出ること。また、リレー競走に出場するチームは、招集完了60分前までにオーダーを用紙に記入の上、招集所の競技者係に届け出ること。
3. **スタートリストを確認し、アスリートビブスとサイドビブスは各自で準備しておくこと（3000m以上の長距離種目の場合はオーダーナンバー）**。アスリートビブスは胸部、背部の両面につけること。ただし、跳躍種目の競技者はどちらか一方のみでよい。また、トラック種目出場の際はサイドビブスを右腰につけること（4×100mRは第4走者、4×400mRは2～4走者）。
4. 競技用シューズは、靴底の最大厚さ20mmスパイクシューズ、またはノン・スパイクシューズとする。ただし、競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは、道路競技と同じ40mmとする。また、砲丸投げ、円盤投げ、ハンマー投げはこの規定は適用されず、任意のシューズを着用して良い。**規定外の厚さで出場した場合は失格になるので、日本陸連HP（JAAF）の「WA承認シューズリスト」で各自確認すること。**
5. 競技用具は、棒高跳のポールを除いて競技場備付のものを使用する。持参した用具の使用を希望するものは検査を受け使用許可を受けなければならない。又許可された用具は他の競技者にも使用させなければならない。
6. トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順はプログラム記載の番号順とする。
7. 走高跳のバーの高さ及びバーの上げ方は次の通りだが、出場選手の状況によっては審判長の決定による。
男子：1m40(練習)→1m45→1m50→1m55→1m60→1m65→1m70→1m75 以後3cmずつ
女子：1m10(練習)→1m15→1m20→1m25→1m30→1m35→1m40→1m45 以後3cmずつ
8. リレー種目では、同一のユニフォームを原則とするが、デザイン、配色が同一であれば、選手によりユニフォームのタイプの組み合わせが異なっても良い。
9. 写真判定の妨げになるので、フィニッシュラインの横は立入禁止区域とする。また、競技運営の妨げになるので、本部前を通行しないこと。

10. **競技者・競技役員以外は競技区域内へ立ち入り禁止。**競技者・競技役員以外は必ずスタンドから観戦・応援・撮影をすること。また、ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CDプレーヤー、トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することは禁止。

11. **撮影する場合は必ずADカードが見えるようにつけること。**なお、100mスタート後方などでは撮影禁止。また、不審者を見つけた場合は速やかに近くの審判に伝えること。

12. 更衣室の使用については本部の指示に従い、盗難に十分注意すること。また、各自の持ち物についてもしっかり管理すること。なお、届けられた落し物は、大会終了後、原則保管せずに処分する。

13. 大井陸上競技場使用上の注意事項

①競技者・引率者の入場は7：50を予定。はじめに支部で決まった入場順に、ゴール側出入口から各校2名ずつが入場し、その後、観客も含め全員が入場する。

②競技場への入退場は、ゴール側出入口と中央出入口の2ヵ所とする。

③**メインスタンドゴール付近は、観客の方のために空けておき、学校の待機場所にしないこと。**

④テントは競技場内の芝生スタンドにのみ設置し、メインスタンドには設置しないこと。また、スタンド下の通路は待機場所として使用して良いが、通路幅の半分以上を歩行者用として空けておくこと。なお、ホームストレート前のスタンド軒下も待機場所として使用して良いが、本部前は使用しないこと。

⑤**引率者の方は、8：30に打ち合わせを行いますので、メインスタンド下、中央にお集まりください。**

⑥ウォーミングアップはできるだけ第2コーナー外のウォーミングアップエリアで行うこと。バックストレートは競技が行われていないときのみ使用できるが、審判の指示に従うこと。

⑦バックストレートでのウォーミングアップでは、レーンの途中で止まったり、横切ったりせず、端まで行って周囲を確認してからレーンの外へ出ること。

⑧競技場外での投てき練習禁止。**特にホッケー場の軒下を待機場所として使用することや、ホッケー場前のエリアでウォーミングアップをすることは厳禁。**

⑨ウォーミングアップでハードルを使用する場合は練習用ハードルを使用し、試合用のハードルは使用しないこと。練習可能時間及び場所は以下のとおり。

100mH・110mH：開門～トラック競技開始30分前・ホームストレート7・8レーン

400mH：開門～トラック競技開始30分前・バックストレート第2コーナー～7・8レーン

⑩芝生スタンドの柵に手をかけて上り下りすると柵が破損するので、階段を利用すること。

⑪ゴミは必ず各校で持ち帰ること。また帰宅途中にあるゴミ箱に捨てていかないこと。

⑫スタンドを含む建物内は、すべてスパイクでの歩行は禁止。

⑬大会運営上のことで確認する場合は、「生徒→各顧問→大会本部（総務）」という形でお願いします。

14. 清掃当番校 ※清掃当番校は全競技終了後に本部前に集合してください。

1日目：渋谷教育学園渋谷 2日目：日体大荏原